

# 英語科教育法 I (第13講)

小学校の英語教育



# 目次

- ▶ 小学校の英語教育のおこり
- ▶ 学習指導要領
- ▶ 英語の音声
- ▶ 英語の早口言葉、ライム
- ▶ 言語の気づき
- ▶ モジュール授業



# 小学校での英語教育のおこり

- ▶ 国際化の時代、貿易戦争（科学技術、金融、商談）
- ▶ 歴史的な流れ、早く、多くの時間、たくさんの授業時間へ、中韓台を見習う。
- ▶ コミュニケーション力をあげようとする文科省の悲願（経済界の要望）
- ▶ 中央教育審議会外国語専門部会からの答申を受けて 文科省が学習指導要領を改訂する。
- ▶ 総合的な学習の時間の中に、外国語活動ができるようになる。
- ▶ 小学校の5, 6年生が外国語活動が取り入れられる。
- ▶ 小学校の3,4年生が外国語活動となり、5,6年生で教科となる。



# 小学校の指導要領（外国語活動）

- ▶ 第1部 外国語活動
- ▶ 第1章 総説
- ▶ 1 改訂の経緯及び基本方針
- ▶ 2 中学年の外国語活動の導入の趣旨と要点
- ▶ 第2章 外国語活動の目標及び内容
- ▶ 第1節 外国語活動の目標
- ▶ 第2節 英語
- ▶ 1 目標
- ▶ 2 内容
- ▶ 3 指導計画の作成と内容の取扱い



# 小学校外国語活動

- ▶ 教育課程上の位置づけは「教科」ではなくて、「領域」となっている。外国語活動の評価は、教科で行われるような数値による評価はなじまない。
- ▶ 活動の観察、ノートや振り返りカードの分析などで、児童の活動の中で、顕著なものを文章で記述する。
- ▶ 目標
- ▶ 外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。



# 小学校の指導要領（外国語）

- ▶ 第2部 外国語
- ▶ 第1章 総説
  - ▶ 1 改訂の経緯及び基本方針
  - ▶ 2 外国語科導入の趣旨と要点
- ▶ 第2章 外国語科の目標及び内容
  - ▶ 第1節 外国語科の目標
  - ▶ 第2節 英語
    - ▶ 1 目標
    - ▶ 2 内容
    - ▶ 3 指導計画の作成と内容の取扱い
  - ▶ 第3節 その他の外国語



# 総合的な学習

- ▶ 総合的な学習の導入：学習指導要領では、科目ごとの枠を超えて総合的な学習を促進する方針が示されている。異なる教科の知識やスキルを組み合わせ、総合的な視点から問題解決能力や応用力を育むことが強調されている。
- ▶ CLIL（Content and Language Integrated Learning）では、英語を用いてそれぞれの科目を学習している。
- ▶ ICTの活用：情報通信技術（ICT）の進化に対応し、デジタル技術を教育に積極的に取り入れることが奨励されている。これにより、生徒たちは情報リテラシーや情報処理能力を向上させることが期待されている。



# 英語の音声

- ▶ 音声を中心に、ゲーム・歌・チャンツを重視することである。
- ▶ 英語の歌
- ▶ 現学習指導要領では、「外国語でのコミュニケーションを体験させる際には、音声面を中心とし、アルファベットなどの文字や単語の取扱いについては、児童の学習負担に配慮しつつ、音声によるコミュニケーションを補助するものとして用いること、とある。



# 英語による早口言葉

- ▶ She sells seashells down by the seashore.
- ▶ 彼女は海岸で貝殻を売っている。
- ▶ Keen Vikings buy the King a bike.
- ▶ ヴァイキングが王さまにバイクを買う。
- ▶ Gloomy grooms roamed around Rome.
- ▶ 暗い新郎たちがローマを歩く。
- ▶ He threw three free throws.
- ▶ 彼は3回のフリースローを投げた。
- ▶ Few hares fear human hair.
- ▶ 野うさぎのほとんどは人の髪の毛を恐れない。



# ライムを使った活動

- ▶ “Humpty Dumpty sat on a *wall*, (ウォール)  
Humpty Dumpty had a great *fall*. (フォール)  
All the King’s horses, And all the King’s *men* (メン)  
Couldn’t put Humpty together *again!*” (アゲイン)
  
- ▶ “Twinkle, twinkle,
- ▶ little *star*, (スター)
- ▶ How I wonder
- ▶ what you *are!* (アー)
- ▶ Up above the world
- ▶ so *high*, (ハイ)
- ▶ Like a diamond
- ▶ in the *sky!*” (スカイ)



# 英語ゲーム

- ▶ 伝言ゲーム
- ▶ Twenty questions
- ▶ Simon says
- ▶ gesture game
- ▶ カルタ取り



# 英語のテキスト

- ▶ 様々なテキストが考案された。
- ▶ 英語ノート、Hi, friends
- ▶ Let's Try
- ▶ We can
- ▶ Here we go!
- ▶ Crown Jr.



# 日本語との両立

- ▶ 日本語と英語から、「ことば」への気づきをもたらす。
- ▶ 小学校からの英語教育は言葉への鋭い嗅覚をやしなう。
- ▶ それは、日本語への気づきへとつながる。
- ▶ 言語への「気づき」awareness につながる。



# モジュール授業

- ▶ 英語は毎日行うことが望ましい。
- ▶ しかし、5, 6年生でも週2コマである。
- ▶ 他の教科を削って、英語に当てる余裕はない。
- ▶ 朝の時間、昼休みなどを利用して、15分ほどの時間を英語学習に当てる。
- ▶ 15分をモジュールと考えて、週3回ほど英語を行えば、少なくとも週に5回は英語に触れることになる。



# 課題

- ▶ 学習指導要領では小学校の英語教育はどのように記載されているか。
- ▶ 音声面ではどのように指導したらいいか。
- ▶ 言語の気づきとは、どのように生まれるのか。

